



『未来へと 命を繋ぐ 189』

(いちはやく)

児童虐待を防ぐためには、地域の皆さんの**深い関心と理解**そして**協力**が必要です。

☎/こども未来課 ☎463-0364

平成29年度の児童虐待対応件数は、全国で13万件を超え、これまでで最多の件数となっています。そして、年間約70人(心中を含む)あまりの子どもたちが虐待によって命を失っているのが現状です。虐待は、子どもが死に至ることもあり、心身の発達や人格の形成にも重大な影響を与えます。

<子どもを虐待から守るための5か条>

- ①「おかしい」と感じたら迷わず連絡(通告してください)
- ②「しつけのつもり…」は言い訳(子どもの立場に立って判断しましょう)
- ③ひとりで抱え込まない(あなたにできることから即実行しましょう)
- ④親の立場より子どもの立場(子どもの命を最優先しましょう)
- ⑤虐待はあなたの周りでも起こりうる(特別なことではありません)

○通告・相談先

児童虐待かな…と思ったら児童虐待全国共通ダイヤル



189 (いちはやく)

◎最寄りの児童相談所へ繋がります。

月～金曜日 午前8時30分～午後6時15分

上記時間外は

「休日夜間児童虐待通報ダイヤル(☎048-779-1154)」へ

◎通告者や相談者の秘密は守られます。また、匿名でも構いません。通告の結果、虐待でなくても罰せられることはありません。

○児童虐待通告・相談先

名称	電話番号
所沢児童相談所	04-2992-4152
こども未来課	048-463-0364
休日夜間児童虐待通報ダイヤル	048-779-1154
朝霞警察署	048-465-0110 (緊急時は110番)

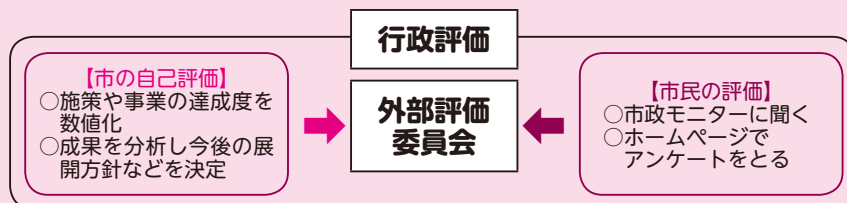
児童虐待の要因・背景

- 地域からの孤立**：子育ての相談相手がいない・知り合いがいないなど
- 家庭内ストレス**：パートナーとの関係がうまくいかない・経済的不安など
- 子どもとの関係**：育てにくい子ども・相性が合わないなど
- 養育者の問題**：子どもをかわいく思えない・虐待されて育ったなど

◎これらは、ごく一部の要因や背景です。虐待は決して特別な人だけに起きる問題ではありません。虐待が発生してしまう前に、どこか相談先や話せる人、場所があったら子どもも保護者も家族も助かるかもしれません。地域資源を有効に利用し、子どもも保護者も共に育っていきましょう。

行政評価に取り組んでいます

市では、実施した施策や事業について、透明性と客観性が確保できるよう、自己評価と外部評価を合わせた行政評価を行っています。市が実施した施策や事業についての自己評価を行い、その結果の検証を行うため、市議会議員、知識経験者、公募市民の方たち合計10人で構成する「朝霞市外部評価委員会」を設置し、外部の視点から評価を行っていただいています。



外部評価委員会では、【市の自己評価】のほか、【市民の評価】を参考にしながら、市が行っている施策や事業に対する検証を行い、その結果を報告書としてまとめ、市に提出しています。市は、報告された検証結果を翌年度以降の施策などに反映させるなど、より良い市政運営に役立てています。



外部評価委員会での重要文化財旧高橋家住宅見学の様子

外部評価委員会の会議録、結果報告書は市ホームページに掲載しています。下記URLからご確認ください。

<http://www.city.asaka.lg.jp/soshiki/2/gyoseihyoka.html>

次号からは、第5次朝霞市総合計画の将来像を実現するために設定している4つの基本概念(コンセプト)に基づき、市が取り組んでいる事業を「シリーズ “暮らしつづけたいまちを目指して”」として紹介していきます。

将来像

私が暮らしつづけたいまち 朝霞

コンセプト

安全・安心なまち

子育てがしやすいまち

つながりのある元気なまち

自然・環境に恵まれたまち

☎/政策企画課

☎463-3089

